



# 安全で安心な住環境づくり

～ 犯罪から子どもを守る ～

2009.8.7

積水ハウス株式会社

住生活研究所

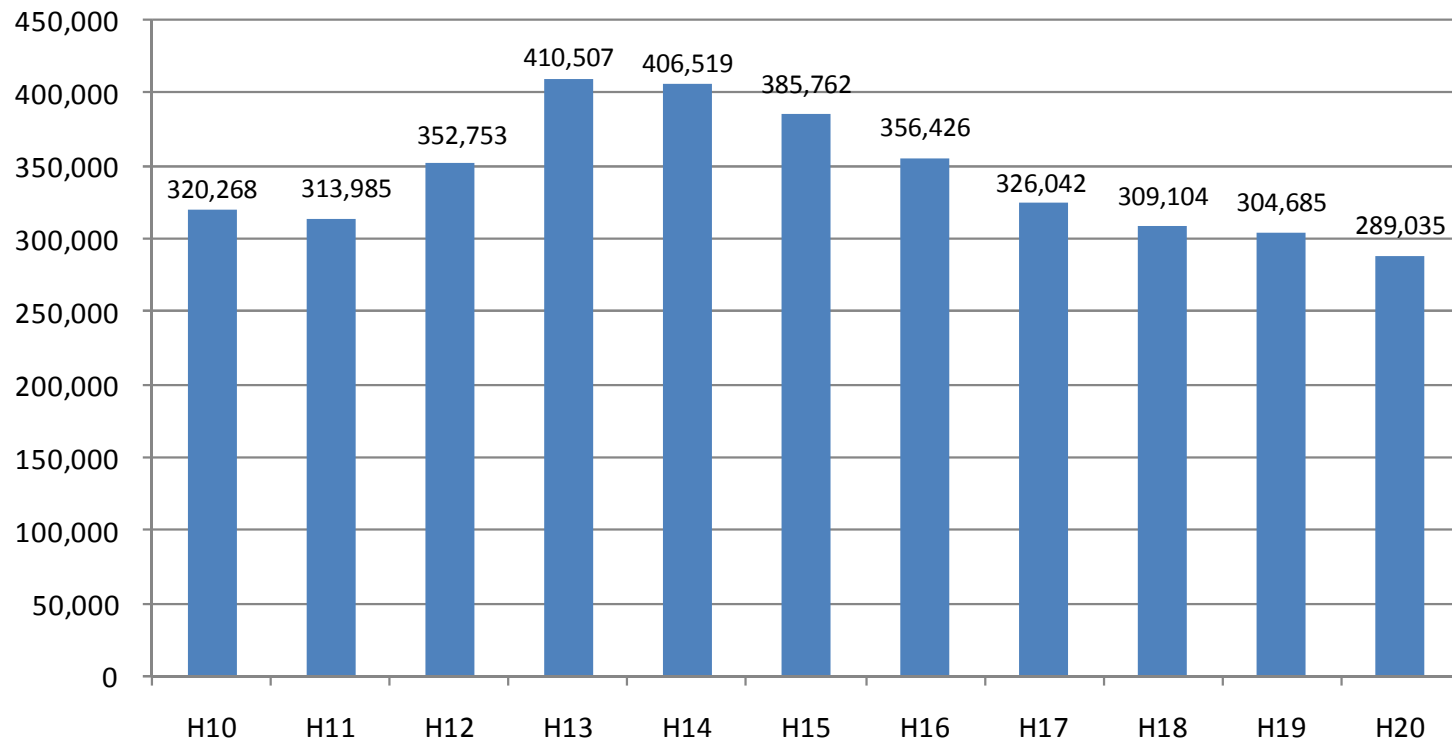
中村 孝之



# 子どもの犯罪被害状況①



子どもが被害者となる犯罪は年間30万件も発生



< 子どもの刑法犯被害件数の推移 >

※警察庁公開データより作成 (H20)

積水ハウス㈱住生活研究所 2009.8.7

## 子どもの犯罪被害状況②



刑法犯被害件数に占める子どもの割合は約20%

子どもが被害に遭いやすい犯罪は、略取誘拐(連れ去り)と性犯罪

	認知件数	子どもが被害者となったケース	
全刑法犯	1,458,697	289,035	19.8%
略取・誘拐	155	111	71.6%
強制わいせつ	7,111	3,691	51.9%
公然わいせつ	912	428	46.9%
強姦	1,582	695	43.9%
恐喝	6,169	2,613	42.4%
暴行	31,641	6,004	19.0%
傷害	28,291	5,516	19.5%
殺人	1,290	166	12.9%
強盗	3,976	362	9.1%
詐欺	44,159	1,539	3.5%

←平均値

子どもが  
被害者となる  
割合が高い

※警察庁公開データより作成(H20)

積水ハウス㈱住生活研究所 2009.8.7

# リフレ岬 望海坂

のぞみざか



- ・大阪府泉南郡岬町
- ・南海本線「淡輪」駅下車 徒歩18分
- ・総面積47.6ha
- ・総区画数約600区画
- ・計画人口2000人の大規模団地
- ・「安全に」「便利に」「楽しく」暮らせる街
- ・2002年に街びらき



# リフレ岬 のぞみざか 望海坂



## ◆ 専任の警備員が24時間常駐

- ・ 3交代制、「顔なじみ」の安心感
- ・ 1日数回、街中を巡回パトロール(毎回ルートを変える)
- ・ 登下校時の見守りも実施
- ・ 各住戸設置の警備システム作動時に緊急駆け付け



# リフレ岬 望海坂

のぞみざか



## ◆ 各住戸に光ファイバーを導入

- ・ ITを利用した機器制御が可能
- ・ 暮らしの利便性にも寄与

## ◆ 街内の3ヶ所にWebカメラを設置

- ・ Webを介して自宅から閲覧可能
- ・ 公園で遊ぶ子どもの様子を自宅から見守ることができる



⇔ 「見守り」と「監視」の違い

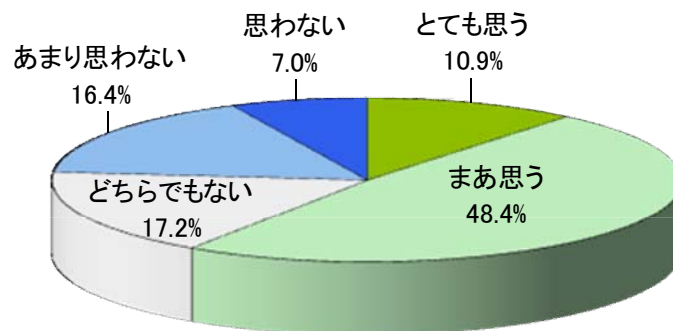


# のぞみざか リフレ岬 望海坂



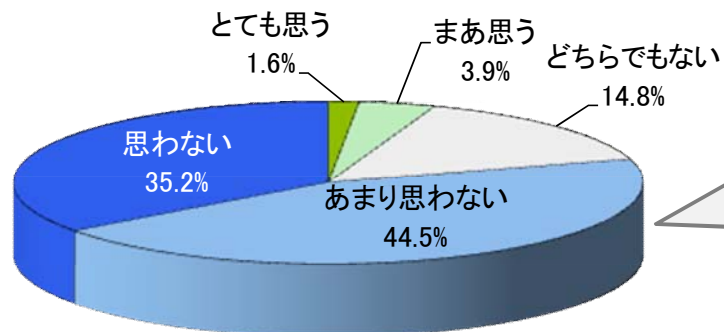
## ◆ 防犯カメラに対する住民評価

< カメラがあることで安心感があるか >



住民の約2/3はカメラによる安心感を得ている

< カメラがプライバシーを侵害していると思うか >



プライバシー侵害を感じる人は約5%ほど



## ◆ 防犯カメラの課題

・カメラ台数、設置場所とプライバシー侵害配慮の折り合い

・カメラ仕様の検討

→ 誰が閲覧するか？・・・住民同士？警備会社？録画保存のみ？

→ 解像度はどの程度？

・カメラ運用の取り決め

→ 録画データの管理方法は？

→ システムを誰が所有する？

→ 維持メンテナンスは？

→ カメラ機種交換時の対応は？



# のリフレ岬 望海坂



- ◆ 団地入口のモニュメントで領域性を明示

→犯罪者の徘徊防止

- ◆ 団地内を通り抜けにくい道路計画

→不要な通過交通の削減



# リフレ岬 のぞみざか 望海坂



- ◆ イメージハンプ  
(道路舗装に変化)



- ◆ コミュニティ形成につながる積極的な取り組み

ガーデニング 教室

もちつき大会

夏祭り

BBQ大会

防災訓練

防犯講習会 etc



# コモンアベニュー毛野



共働き世帯を中心ターゲットに設定  
栃木県は共働き率全国16位<国民生活基礎調査2004>



- ・栃木県足利市八柵町
- ・JR両毛線足利駅からバス
- ・総区画数 67区画
- ・敷地面積 : 約60坪
- ・用途地域: 第一種住居地域
- ・30歳前半の共働き家族がメイン客層
- ・2008年に街びらき



# コモンアベニュー毛野



## ◆「ケータイホームシステム」を全戸標準装備

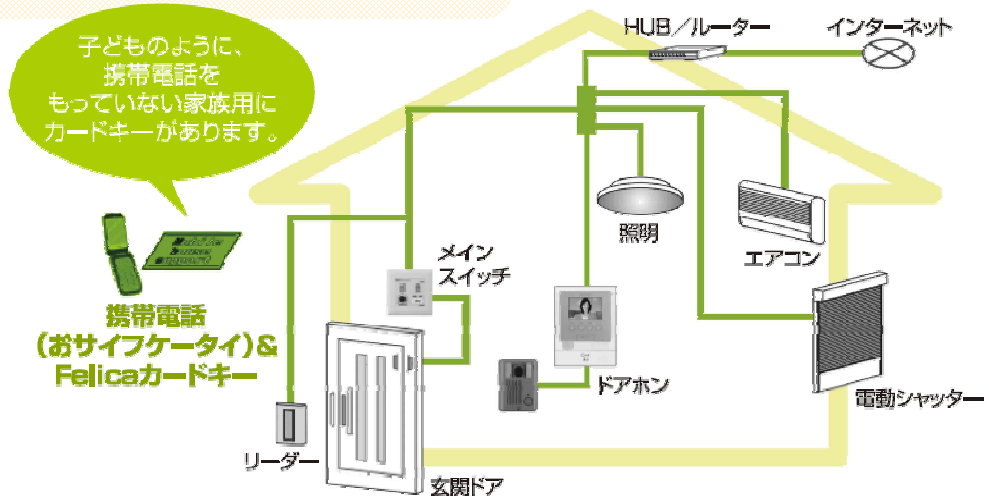
携帯電話(おサイフケータイ)のFelica機能を使った「安心」で「便利」な暮らしを提供できるシステム。

安心

- \* 子どもの帰宅情報をメールで知らせてくれる
- \* 遠隔地から鍵の施錠確認、施錠操作が可能
- \* カードキーを紛失してもシリンダー交換不要
- \* 遠隔地においても来訪者の確認が可能

便利

- \* 荷物を持っていても楽に施錠・解錠操作
- \* 遠隔地から照明・エアコン、シャッターの操作が可能



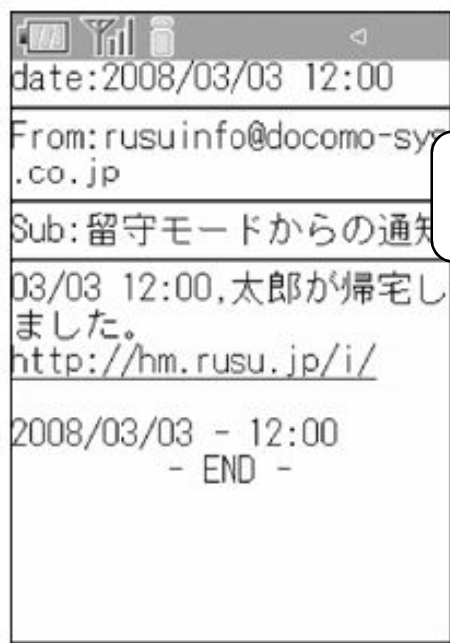
# コモンアベニュー毛野



## ◆ケータイホームシステムを全戸標準装備

働きながら子どもを育てる両親の不安を解決！

- ・ 子どもが学校からちゃんと帰ったか
- ・ 帰宅後、戸締りをしっかりしているか
- ・ 子どもに預けた家の鍵を紛失しないだろうか
- ・ 一人で留守番をしている際に不審な来訪者が来ないだろうか



< 帰宅情報のメール通知イメージ >

ちゃんと帰ってきたわね。  
離れていても確認できるから  
安心だわ！



# 子どもへの安全教育の研究



ハードな対策だけでは子どもの安全を守りきることができないことを前提に、  
過去の重大事件の現地調査から、

子ども自身の危機回避能力の育成について研究

奈良小1女児殺害事件現場(2004年)



栃木小1女児殺害事件現場(2005年)



広島小1女児殺害事件現場(2005年)



被害現場  
調査より

- ・どれだけ死角を減らそうとしても、街中には必ず死角となる部分がある。
- ・広大な通学路を有する地域などでは、見守りの目を確保しきれない。
- ・地域の大人によるパトロールには限界がある。

※日本女子大学／清永教授・積水ハウス／住生活研究所 共同研究

# まず人に注意をはらう



「変な人に付いて行ったらダメ」といっても、どんな人を指すのか、子どもが普段意識しておかないといけない。

## ヘンな人

その場、その時に似合わない人  
・・・公園に長時間座っているサラリーマン

## 不審な人

用もないのに視線を投げかけたり徘徊する人  
・・・公園に座って横目で子どもをちらちら観察

## 危険な人

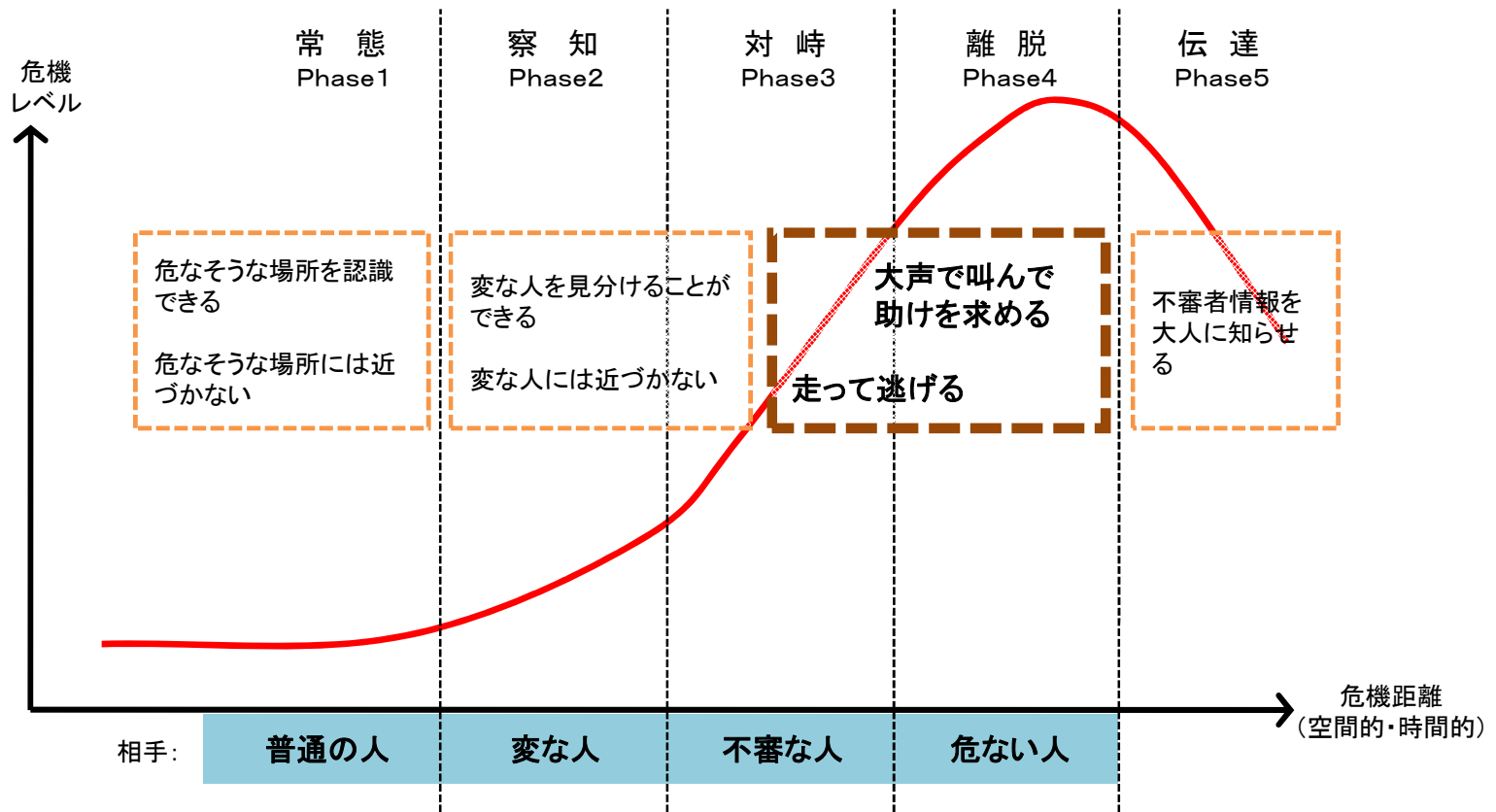
やみくもに子どもに近づいてくる人  
・・・すきを見て子どもを狙って行き声をかける

その場、その時に似合わない人を、自分で察知する能力を持つこと。  
そして、回避能力を身につけること。

# 危機レベルと危機距離の概念図



## 犯罪者と対峙した際の子どもの対処の仕方の概念図



※日本女子大学/清永教授・積水ハウス/住生活研究所 共同研究

# 子どもの安全基礎能力の測定



## 実験1

### 助けを求める叫び声の認知範囲

……助けを求めても周囲に聞こえるものなのか？

「ウワー、キヤー」「助けて」といった言葉では効果に限界。防犯ブザーとの併用が必要。

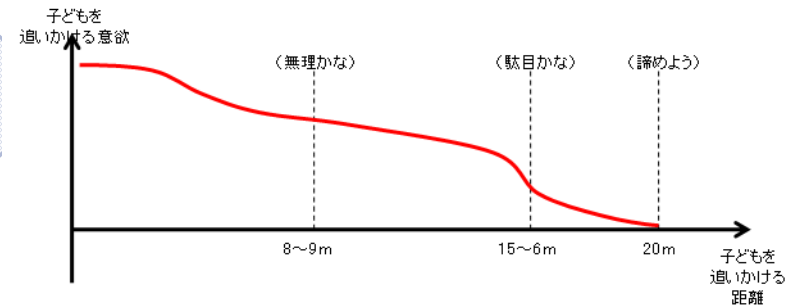


## 実験2

### 犯罪者から逃避可能な安全距離

……不審者からどの程度離れておくべきなのか？

通説であった「対峙距離2～3m」では、逃げ切るには不十分。目安は4m以上。



追いかける時間が長いほど、意欲は低下

※日本女子大学／清永教授・積水ハウス／住生活研究所 共同研究

# まちづくりでの防犯の展開



伝統的村社会では、まちでの子ども犯罪を守るのは、地域の目。  
戦後開発された住宅地において、  
夫婦ともに就労、社会参加する家族が増え、元気な高齢者の増加で  
お年寄りも社会に進出し、住宅地の昼間人口はますます減少。  
自治組織も、結束が弱くなっている。



社会で見守るしくみの必要性

個々の住宅を超えて、街を見守る事業者と自治組織の連携

携帯電話を媒体とした、ITによる相互見守りのしかけの導入

住宅地管理と生活サポート機能を備えた、  
タウンマネジメントの導入